

第14回 げんでん科学技術振興事業実施要領（平成23年度）

1. 趣 旨

茨城県内の小・中・高等学校及び特別支援学校の児童生徒から科学技術に係る調査・研究計画を公募し、優れた計画に対し助成するとともに、優秀な調査・研究成果に対し、科学技術振興大賞及び奨励賞を授与することにより、明日を担う児童生徒の科学技術に関する独創性と豊かな創造性の育成を図る。

2. 応募資格

- (1) 茨城県内の小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の児童生徒のグループとする。
〔学校、学級、部活動、同好会等〕
- (2) 応募件数は、1校で2件までを可とする。

3. 調査・研究の対象

- (1) 小・中学校においては、理科を対象とする。
- (2) 高等学校においては、物理、化学、生物、地学、工業、農業、水産を対象とする。

4. 助成対象校の選考及び内容

- (1) 助成対象校は、原則として35校以内とするが小学校、中学校、高等学校毎の応募学校数に応じて選考する。いずれの場合も特別支援学校を含むものとする。
- (2) 選考は、茨城県教育庁、茨城県教育研究会（理科教育研究部）及び茨城県高等学校教育研究会の協力を得て、選考委員会を設置して行う。
- (3) 財団は、上記の結果を助成対象校の学校長に通知の上、助成金を支給する。

5. 調査・研究成果の提出及び科学技術振興大賞及び奨励賞の授与

- (1) 助成を受けた児童生徒のグループは、調査・研究計画書に基づき、調査・研究を行い、その成果を財団事務局に期限までに提出する。
- (2) 調査・研究の成果については、選考委員会において選考し、原則として、小・中・高等学校各1校に「げんでん科学技術振興大賞」（賞状及び副賞等）を、また小学校2校、中学校2校、高等学校1校に「げんでん科学技術振興奨励賞」（賞状及び副賞等）を授与する。

第55回茨城県児童生徒科学研究作品展（兼日本学生科学賞茨城県作品展）

(1) げんでん財団科学賞 受賞者

【小学校の部】

作 品 名	学 校 名	学 年	氏 名
うき草はなぜくつつくのか ～水にうくもののふしぎ～	行方市立 大和第三小学校	4年	大塚 里菜 外2名
アゲハチョウは何日で成虫になるんだろう パート3 一蛹の色は何で決まるのかー (アゲハチョウの成長記録)	つくば市立 吾妻小学校	4年	井原 穰
わたしのかえるたち 5年次 ～かえるの体色変化 Part2～	常陸太田市立 世矢小学校	5年	馬上 愛歌 馬上 智都
植物と紫外線の300日間日記 パート5	つくば市立 竹園西小学校	5年	鯉淵 南海
水質の変化する要因を探る研究 プランクトン調査, ろ過実験を通して	美浦村立 大谷小学校	6年	小川 愛 外9名

【中学校の部】

作 品 名	学 校 名	学 年	氏 名
水をはじいて浮かべるか? PartIV ー水が発泡スチロールを吸い付ける力ー	那珂市立 瓜連中学校	1年	八木 智子
岩塩のなぞに迫る 結晶に色をつける大作戦 PRAT2	茨城大学教育学部 附属中学校	1年	石倉 叶望
ソリトンの研究5 ～カオス・コスモス・多様性～	茗溪学園中学校	1年	田中 希宙
セミの発生周期の研究 ～松見公園におけるセミの観察パート8～	茨城県立 並木中等教育学校	3年	湯本 景将
《蚕の研究6年次》蚕の成長の速さの研究 ～環境条件と成長の偏り～	茨城県立 並木中等教育学校	3年	市川 卓人

【高等学校の部】

作 品 名	学 校 名	学 年	氏 名
セイタカアワダチソウを利用した生物農薬 の研究IV	並木中等教育学校	4年	白井 有樹 外3名

(2) げんでん財団学校賞 受賞校

【小学校の部】

地区名	学校名
水戸地区	東海村立白方小学校
県北地区	日立市立日高小学校
鹿行地区	鉾田市立新宮小学校
県南地区	つくば市立二の宮小学校
県西地区	古河市立古河第四小学校

【中学校の部】

地区名	学校名
水戸地区	茨城大学教育学部附属中学校
県北地区	常陸太田市立瑞竜中学校
鹿行地区	鉾田市立鉾田南中学校
県南地区	つくば市立吾妻中学校
県西地区	下妻市立東部中学校

※科学研究作品展において優れた取り組みをしている学校を表彰